

## 三菱脱衣室暖房機 (壁掛タイプ)

# WD-160BKA

### 据付説明書

販売事業者・据付事業者さま用

- 本製品は住宅用です。業務用途ではご使用できません。
  - 設置を始める前に、この据付説明書をよくお読みください。
- 電気工事は、販売事業者・据付事業者さまにおいて有資格者である電気工事士の方が実施してください。  
(お客さま自身で設置しないでください。無資格者の電気工事は法律で禁止されています)

本製品の施工にあたっては、地域により防災上での制限がありますので、詳細は行政官庁または所轄の消防署にお問い合わせください。(本製品は(社)日本電機工業会で定める自主試験基準に適合しております。)

■別冊の「取扱説明書」はお客さま用です。必ずお渡しください。

## 安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

<b>警告</b>	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	<b>注意</b>	誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
<b>警告</b>		<b>注意</b>	
禁止	本体、リモコンは絶対に風呂場には取付けない 故障の原因。	禁止	直接炎のあたるおそれのある場所には取付けない 火災の原因。
分解禁止	改造や必要以上の分解はしない 火災・感電・けがの原因。	指示に従う	本体は十分に強度のある所を選んで確実に取付ける 落下によりけがの原因。
水ぬれ禁止	製品をぬらしたりしない ショート・感電・故障の原因。		電源電線の接続は確実に 不確実な接続は接続部が過熱して発火の原因。
指示に従う	交流 100V を使用する 交流 100V 以外で使用すると火災や感電の原因。		電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う 接続不良や誤った電気工事は感電・火災の原因。
アース確認	アースを確実に取付け、漏電しゃ断器を設ける 故障や漏電のときに感電の原因。		部品の取付けは確実に行う 落下によりけがの原因。
			取付けの際は手袋を着用する 着用しないと、けがの原因。
			取付け後、長期間使用しないときは、分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因。

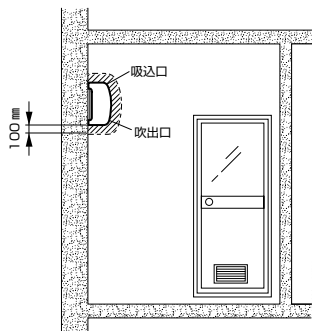
## 取付け前のお願い

- この製品は、住宅の脱衣室の壁面取付け専用です。脱衣室以外の場所への設置、天井面への取付けはしないでください。  
法規制に適合しないことがあります。
- 製品の質量は約 8.5 kg です  
取付ける壁面や既設の換気口(木枠)が十分に強度のあることを確認してください。  
状況によっては補強や追加の部材が必要になることがあります。
- リモコンは浴室に設置しないでください。また、直接お湯や水がかかる場所には取付けしないでください  
故障の原因になります。
- 脱衣室の標準適用サイズは 1 坪 (1.6m × 1.6m) です  
脱衣室が広くなると、暖房・乾燥効果が減少します。
- 強い振動や衝撃を与えないでください  
ヒーターが破損し、感電・けがの原因になります。
- 高温 (40℃以上) になるところに取付けしないでください  
高温では温度ヒューズが溶断して使えなくなります。
- 温泉の脱衣室で使用しないでください  
故障の原因になります。
- 本体を傾けて取付けしないでください  
ヒーターの寿命が短くなったり、故障の原因になります。
- 有機溶剤やスプレーを使う場所には取付けしないでください  
故障の原因になります。

●製品の取付けには、下記の規制がありますので、あらかじめご確認ください

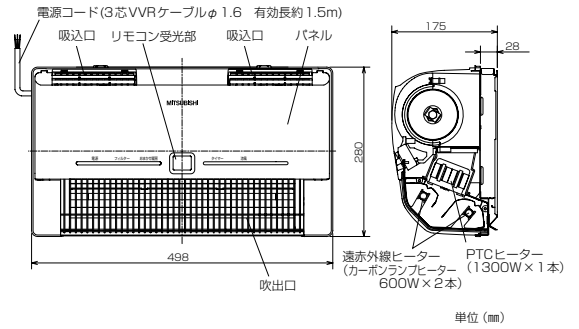
地域により防災上の制限 (火災予防条例に基づく指導) が異なりますので、所轄の行政官庁または消防署へお問い合わせください。

- 指定する寸法で設置すること。
- 本体は壁面に堅固に取付けること。
- 本体から 100 mm 未満の範囲内には造営材等を設けない。
- 漏電しゃ断器を設けること。



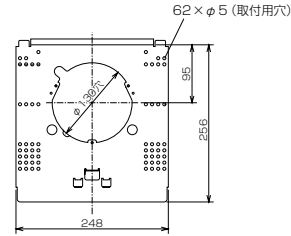
## 各部のなまえと寸法 (外形寸法図)

### ■本体



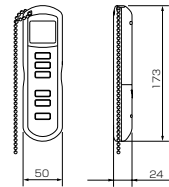
単位 (mm)

### ■取付板

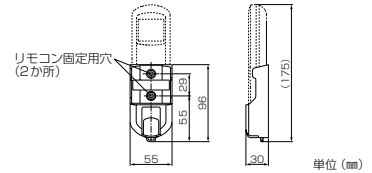


単位 (mm)

### ■リモコン



### ■リモコンホルダー



単位 (mm)

○お願い リモコンは生活防水 (JIS C 0920 保護等級 5 相当) となっていますが、直接水がかかる場所には設置しないでください。

### ■付属品

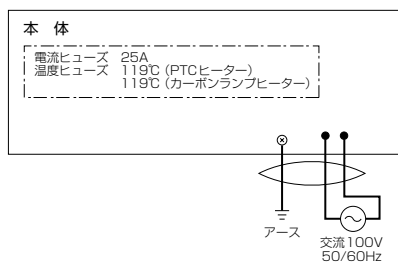
取付板	リモコン	リモコンホルダー	単4アルカリ乾電池2個	取扱説明書	据付説明書
取付板固定ネジ6本 (4 × 50)	リモコンホルダー取付ネジ2本 (3.5 × 32)	落下防止用チェーン固定ワッシャー1個	落下防止用チェーン固定ネジ1本 (4.1 × 20)	本体固定ネジ2本 (4 × 12)	

### ■現地で準備していただく部品

交流 100V 電源電線	600V 定格、VVFケーブルφ2mm
アース線	銅線直径φ1.6以上 (または断面積が1.25mm <sup>2</sup> 以上)
アース棒	適宜
防水ジョイントボックスまたは防水コンセント	適宜

### ■結線図

\*太線部分を施工してください。

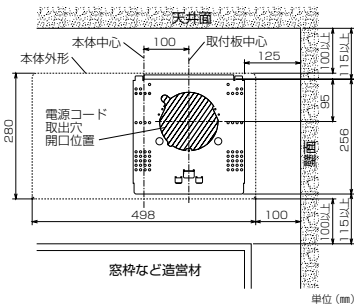


# 取付方法

## 1 取付け前の準備

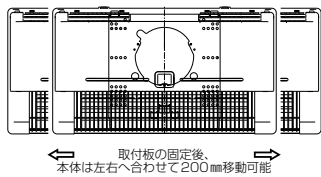
### 1 壁・天井に電源コード取出口をあける。

#### 1. 取付け位置を決定する。



### ■設置可能な開口位置・寸法

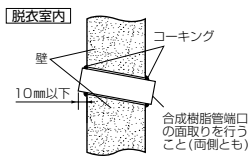
※下記は本体から周囲100mm確保できる寸法になっています。  
(取付板の固定後、本体位置を調整する必要があります)



### 2. 電源コード取出口をあける。

#### 外壁で電線を接続する場合

- 電源コード取出口開口位置に、合成樹脂管（内径φ25）の外形に合わせて、穴をあける。
- 電源コード取出口に市販の合成樹脂管（内径φ25）を通し、コーキングで固定する。
  - 合成樹脂管を壁厚より10～15mm長く切断してください。切断した端面は面取りを行ってください。



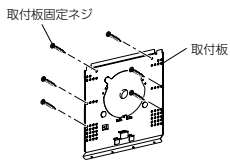
#### 天井裏で電線を接続する場合

天井裏の壁面に近い適当な位置に電源コード取出口（φ25）をあける

### 2 取付板を壁に付属の取付板固定ネジで6か所固定する。

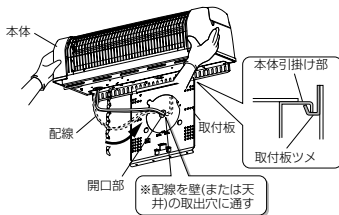
#### ⚠注意

- 製品の下方には耐熱温度の低い物が配置されないように設置する  
ヒーターの熱により変形や変色する原因（照明・窓枠・棚等）。
- 脱衣室の壁の耐熱温度が低い場合は、製品側面と脱衣室の壁の距離を十分に確保する  
ヒーターの熱により変形や変色する原因。



## 2 本体の取付け

### 1 本体を取付板上部の本体引掛け部にツメを掛け固定する。 本体から出ている配線を壁（または天井）の取出口に通す。 ※本体は左右へ合わせて200mm移動可能です。

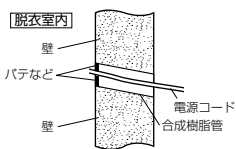


#### お願い

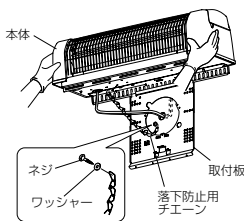
メンテナンス時、本体をはずせるように配線は後から引き出せる長さを確保しておいてください。

#### 外壁で電線を接続する場合

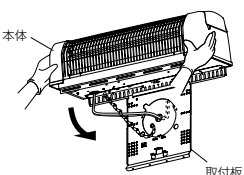
- 湿気やすき間風防止のため、合成樹脂管の脱衣室側をパテなどで仕上げます。



### 2 壁面の補強された部分に落下防止チェーンを取付ける。



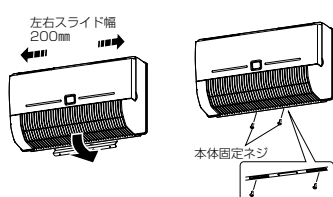
### 3 本体を取付板に取付ける。電源コードがかみ込まないように注意しながら本体を矢印のように取付板に取付ける。



#### お願い

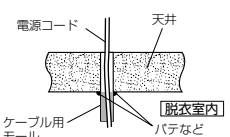
メンテナンス時、本体をはずせるように配線は後から引き出せる長さを確保しておいてください。

### 4 下部2か所を付属の本体固定ネジで固定する。 このとき本体下部の長穴の範囲で移動できます。 両端の長穴に取付板の取付穴を合わせて、本体固定ネジで確実に締め付ける。



#### 天井裏で電線を接続する場合

### 1. 電源コードを天井裏に通し、脱衣室内で露出している電源コードをケーブル用モールで覆う。



### 2. 湿気やすき間風防止のため、天井にあげた穴の脱衣室側をパテなどで仕上げる。

## 3 電気工事

- 電源は必ず分電盤の専用ブレーカーに接続する。
- プラグの使用、コンセント部分への差し込みはしない。
- 壁スイッチを経由した電源の接続はしない。  
壁スイッチの焼損や本体の誤動作、故障の原因になります。
- D種接地（アース）工事を確実に行う。
- 屋内配線に使用する電線はφ2.0mmを使用する。  
径が小さいと電線の焼損や火災の原因になります。

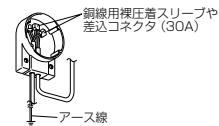
#### ⚠警告

- 交流100Vを使用する
- アースを確実に取付け、漏電しゃ断器を取付ける感電や火災の原因。

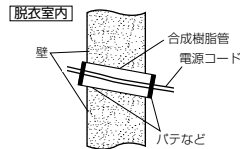
#### ⚠注意

- 電源コードの接続は確実に行う
- 電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って有資格者が安全・確実にを行う  
火災や感電の原因。

### 1 防水ジョイントボックス（市販品）の中で棒端子（市販品）、コネクター（市販品）で結線図に従って結線する。

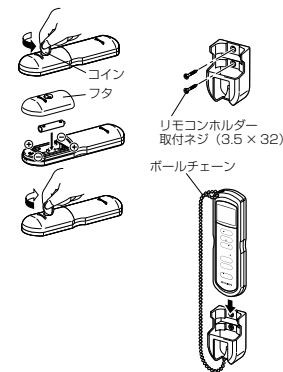


### 2 湿気やすき間風防止のため、外壁側（または天井裏側）をパテなどで仕上げる。



## 4 リモコンホルダーの取付け

- リモコンに付属の単4アルカリ乾電池2本を入れてフタをする。  
フタはしっかりと取付けてください。
- リモコンホルダーを付属のネジ2本で固定する。  
リモコンは生活防水（JIS C 0920 保護等級5相当）ですが、直接水やお湯がかかる位置には取付けしないでください。  
チェーンをはずしてご使用いただくことも可能です。



### 3 リモコンをホルダーに取付ける。

## 試運転

- 設置が終了したら、再度結線が間違っていないか、ご確認ください。
- 次に、取扱説明書の「使いかた」を参照して、お客さま立ち会いで全モード試運転を行い、下記をご確認ください。

- 1 本体は確実に取付けられていますか？
- 2 リモコンを操作して、取扱説明書どおり動作しますか？
- 3 運転中に振動や異常音がありませんか？

- 引き渡しまで期間がある場合は、試運転確認後、リモコンの電池を抜き、この「据付説明書」は別冊の「取扱説明書」とともにお客さまにお渡しください。



■平日 9:00~12:00 13:00~19:00 (土・日・祝・弊社休日以外)  
三菱電機 換気送風機技術相談センター……電話 0120-726-471 (無料) 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場1番3号  
■その他の時間  
三菱電機 お客さま相談センター……電話 0120-139-365 (無料) 〒154-0001 東京都世田谷区池尻3-10-3

この説明書は、再生紙を使用しています。